

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立田代小学校
校長 豆田 幸彦

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語科について

国語科の平均正答率は、全国正答率を下回っていました。観点別に見ると、「知識・技能」は、全国正答率を上回ったものの、「思考・判断・表現」について、全国正答率を下回りました。特に、「読むこと」については、全国正答率に比べ正答率が低く課題が見られました。

(2) 算数科について

算数科の平均正答率は、全国正答率を下回りました。観点別に見ると特に、「思考・判断・表現」について、課題が見られました。領域別では、特に「図形」において、全国正答率を大幅に下回っていました。直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書くことや、 $7/3$ と $7/4$ のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書くことについて課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全73の質問項目の一部について

質問項目	本校の割合	全国の割合
朝食を毎日食べていますか [当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	87.2%	93.3%
学校の授業時間以外に、1日にどれ位の時間、勉強をしていますか (月曜日～金曜日) ※ (上)最も多い割合 (下)二番目に多い割合	30分～1時間 30分より少ない	30分～1時間 1時間～2時間

PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ができると思いますか	71.8%	79.1%
インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ができると思いますか [当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	75.6%	84.9%
自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	78.2%	74.6%
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.2%	85.7%

- ・朝食を毎日食べている児童は、全国を大きく下回っていました。児童の健やかな成長のため、「朝食」をとる習慣の定着へご協力をお願いします。
- ・学校の授業時間以外の勉強時間が全国を大きく下回っていました。家庭学習については、主に宿題で取り組むようにしています。
- ・PC・タブレットなどの ICT 機器を使って文章を作成すること、インターネットを使って情報を収集することに課題が見られました。
- ・PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができるかについては、できている児童が多く見られました。発表の際には活用ができています。
- ・学校に行くのは楽しいと思っている児童は、全国を上回っていました。これからも、児童が楽しく学校生活が送れるように、励ましていきます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・国語科では、「読むこと」について、長い文章でも苦手意識を減らすように音読活動に取り組ませていきます。また、図書室を積極的に活用させ、日常的に読書に親しませ、文章を読み解く力を養うようにしていきます。
- ・算数科では、図形を学習する際には、実物を見せたり、回転させたりして理解を促す工夫を行っていきます。また、分数の数の大きさについて、比べることに課題があったため帯分数にしたり、小数にしたりする力を伸ばしていきます。
- ・家庭学習では、学習頑張り週間も実施して児童が自分の課題を見つけながら家庭と一緒に取り組めるように指導していきます。
- ・タブレット等の ICT 機器を活用し、文章を作成したり、インターネットを活用したりする場面を増やして、幅広い活用を目指します。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習環境を整え、学習時間を確保してください。

- ◎興味があることは、本や資料、インターネット等で調べ、深く学習するよう促しましょう。
- ◎学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的に見つけ、ほめましょう。
- ◎家族で、対話する時間をもつようにしましょう。